翻訳通信講座 ガイド

地球を結ぶ言語のプロフェッショナルを育む

翻訳会社の翻訳学校

MRI語学教育センター

Language Training Center

語学力を活かして、
グローバル時代を担う力を育む

企業のグローバル化、インターネットの急速な普及・進歩にともなって、国際ビジネスは日常業務と呼んでも過言ではなくなりました。それに伴い、翻訳を要するドキュメンテーションの分量も、飛躍的な増加をつづけています。契約書、説明書、報告書、論文など、官公庁や各種団体、企業の業務にかかわる翻訳を、実務翻訳（産業翻訳とも）といいます。その需要は、文芸翻訳や映像翻訳を含めた翻訳需要全体の、80％を占めるまでになっているのです。

こうしたニーズを背景に、いまや実務翻訳者は、社会に欠かすことのできないスペシャリストとなりました。インターネットでリアルタイムに翻訳原稿のやり取りができるようになったこともあり、住んでいるところや年齢に関係なく、さまざまなバックグラウンドの方が実務翻訳者として活躍しています。

これまで身につけた英語力を実社会で生かすために、あなたも実務翻訳の世界へ踏み出してみませんか？

MRI（メディア総合研究所）**語学教育センター**

これまでの語学教育の歩み

1975年	日本実務翻訳学院として英語通信教育講座を開講
1976年	翻訳・校閲サービスを開始
1978年	英語通学制講座を開講
1979年	企業向け外国語教育を開始
1981年	海外・国内向け各種資料の企画・制作および文書処理・ドキュメンテーションサービスを開始
1985年	実務翻訳講座・英文ライティング講座を開講
2003年	新たにメディア総合研究所語学教育センターを設立し、基礎から学ぶ実務翻訳、Step１・Step２講座を開講
2004年	『ネイティブが教える英語表現辞典』を発売
2012年	メディカルライティング通学制講座を開講
2014年	Step１・Step２講座をリニューアル

ステップアップ講座

基礎から学ぶ実務翻訳

実務翻訳者を目指す人の登龍門です。短文課題を通して効率よく基本となる翻訳技術を修得します。

page 4

Step1（実践）

8コースの専門分野から1コースを選択し、専門分野ごとに翻訳技術や思考法を学びます。

page 5

Step2（プロ）

さらに専門分野を追求し、プロ翻訳者として不可欠な実践的な翻訳力を身につけていきます。

page 5

page
Step1（実践）の教材 10
Step2（プロ）の教材 11
英文 e-mail 速効ゼミ 12
通信講座の特徴 13
MRI 語学教育センターの『自社育成システム』 14
メディア総合研究所 翻訳事業部 15

4 基礎から学ぶ実務翻訳

「基礎から学ぶ実務翻訳」のポイント3

1. 短期間に集中して翻訳の基礎を修得します。
2. 短文の課題を通して、日本人が陥りやすい翻訳のポイントやその攻略法を修得します。
3. 専門分野を絞る前段階として、分野を問わず共通して応用できる翻訳技術を修得します。

日▶英 and 英▶日

こんな方に最適です !!
❶ 翻訳を初めて学習する方
❷ 翻訳に興味・関心をお持ちの方
❸ 翻訳の基礎を再確認したい方

受講レベル	TOEIC 550 ～　※あくまでも目安です
受講時期	随時
受講期間	5ヵ月　※受講延長制度あり
添削課題	8題（日▶英：4題、英▶日：4題）
質問	6回
受講料	38,340円（税込）
教材	テキスト（バインダー形式）1冊 英語表現辞典　1冊

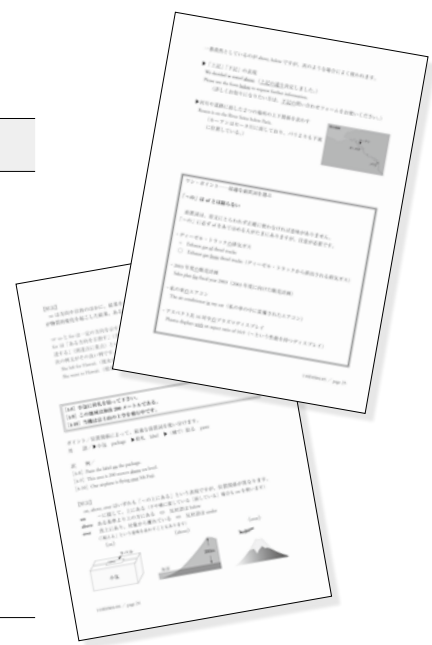
「基礎から学ぶ実務翻訳」では、次の内容を学習します。

日▶英

レッスン課題
1. 翻訳はコミュニケーション
2. 最適な主語を選ぶ
3. 最適な動詞を選ぶ
4. 形容詞・前置詞を使いこなす
5. 助動詞
6. 文章の流れを考える
7. 数・時間・場所の表現
8. 比較・程度・割合の表現
9. まとめ

英▶日

レッスン課題
1. 実務翻訳とは
2. 頭から訳す
3. 最適な訳語を見つける
4. 自然な日本語に訳す (1)
5. 自然な日本語に訳す (2)
6. 助動詞
7. 文章の流れを考える
8. 数量・比較・単位の表現
9. まとめ

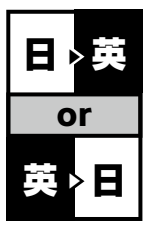


Step 1（実践）

Step 1 では、専門分野に分かれて翻訳の技術を学習します。
専門分野の翻訳が初めての方も、専門用語や知識を修得しながら
学習することができます。

選べます

❶ ご希望の専門分野を 8 コースの中から選択ができます。
❷ 学習目的に合わせて、日▶英または英▶日が選択できます。



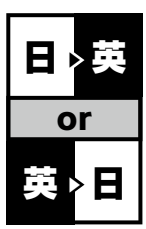
受講レベル	TOEIC 600 ～　※あくまでも目安です
受講時期	随時
受講期間	5ヵ月　※受講延長制度あり
添削課題	6 題（日▶英または英▶日）
質問	6 回
受講料	48,600 円（税込）
教材	テキスト（バインダー形式）1 冊 英語表現辞典　1 冊

Step 2（プロ）

Step 2 では、プロの翻訳者を目指し専門分野を強化します。
Step 1 から同じ分野を継続して受講されるとより効果的です。

選べます

❶ ご希望の専門分野を 8 コースの中から選択ができます。
❷ 学習目的に合わせて、日▶英または英▶日が選択できます。



受講レベル	TOEIC 730 ～　※あくまでも目安です
受講時期	随時
受講期間	8ヵ月　※受講延長制度あり
添削課題	10 題（日▶英または英▶日）
質問	6 回
受講料	62,640 円（税込）
教材	テキスト（バインダー形式）1 冊 英語表現辞典　1 冊

6 Step 1（実践）・Step 2（プロ）共通コース

お申込の際は、次の 8 コースより、いずれか 1 コースを選択してください。

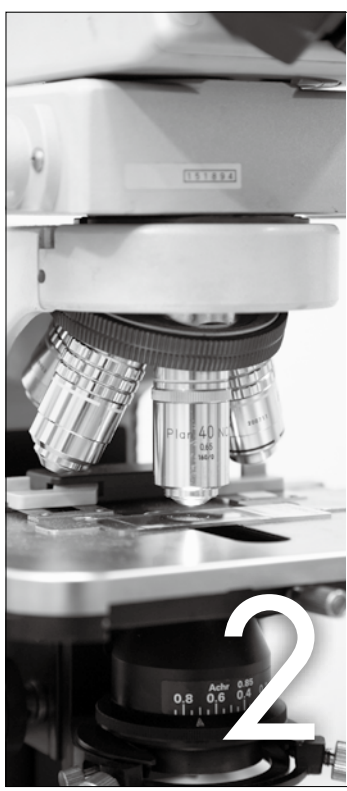
1 IT・コンピュータ

▶ IT・コンピュータ分野の翻訳者を目指す方
▶ IT分野の新しい技術や用語を学びたい方
▶ SDL TRADOS など翻訳支援ツールを使用した翻訳にご興味のある方

業務全般を支える基幹システムから末端の IT（Information Technology）技術まで、いまや IT はビジネスの現場に深く浸透し、日々進化を遂げています。この分野の翻訳文書は、IT・コンピュータに関係するマニュアル、ヘルプ、マーケティング資料、プレスリリースやパンフレット、製品の画面（ユーザインタフェース）など、多岐にわたります。頻繁に新しい技術や発想が生み出される分野でもあり、なかには一読しただけでは内容が理解できない文章もあります。そのため、翻訳には特に、原文を正確に把握するための文法力と、新しい発想に対応する柔軟性が求められます。また、SDL TRADOS※などの翻訳支援ツールを使用した翻訳ニーズも高く、今後も需要の拡大が見込まれます。

※ SDL TRADOS は、SDL 社の登録商標です

テーマ A　ハードウェア、ソフトウェア
コンピュータ部品の取扱説明書・仕様書、ソフトウェアの開発手順書・マニュアル、ヘルプ、プレスリリースなど
テーマ B　ネットワーキング、通信
ネットワーク製品カタログ、インフラ調査レポート、コンフォーマンス試験仕様書など
テーマ C　プログラミング、マルチメディア、その他
製品のプログラミングガイド、システム開発製品パンフレット、システム操作説明書、サービス利用規約、ライセンスプログラム契約、Web サイト、報告書など



2 先端テクノロジー

▶先端テクノロジー・ライフサイエンス分野の翻訳者を目指す方
▶専門性が高く、論理的な文章にご興味のある方
▶需要の多い分野で翻訳者を目指す方

iPS 細胞、遺伝子組み換え技術、遺伝子診断・治療、ナノテクノロジー、分析技術など、先端テクノロジー分野では、画期的な技術や製品が次々と開発されています。こうした新技術は、食料、医療、エネルギー、環境など、さまざまな分野での貢献が期待されています。技術発展に伴い、翻訳需要も年々増加しており、今後もこの勢いは一層加速するものと考えられます。一方で、専門性が高いため、恒常的に翻訳者が不足している分野でもあります。本コースでは、論文、製品紹介、実験方法や報告書といった先端テクノロジー分野で頻出する文書を題材に、内容や専門性に適した翻訳表現とその思考法を身につけていきます。

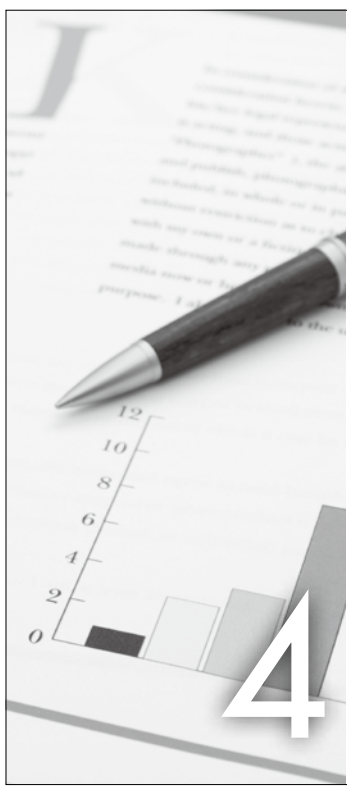
テーマ A　バイオテクノロジー
DNA シーケンサーの製品紹介、実験手順書・マニュアル、研究論文、販促資料など
テーマ B　物理、化学
有機化学・無機化学に関する技術解説、ナノテク関連の技術資料、論文、クロマトグラフィー取扱説明書など
テーマ C　分析技術
SOP（標準作業手順書）、加速器を用いた技術解説、分析装置製品紹介・カタログなど

契約・法務

▶契約・法務分野の翻訳者を目指す方
▶契約・法務文書の基本的な書式を学びたい方
▶法務特有の表現や書式を修得したい方

企業の海外進出が増えるにしたがい、契約・法務文書の重要性はますます高まっています。契約書や企業法務に関する文書は、誰が読んでも解釈に差が出ないことが重要であるため、非常に形式を重視したものになっています。本コースでは、契約書、会社定款、社内規定、法律などの条文、裁判資料などを題材に、各種契約書や企業法務に関する文書の基本的書式を学び、原文の意図が誤解されることなく、正確に相手方に伝わるように表現する技術を学びます。

テーマA　契約書
販売代理店契約、取引基本契約、秘密保持契約など各種契約書
テーマB　定款、規程、規範
会社定款、約款、監査マニュアル、規程など
テーマC　法律文書
法律、条例、裁判資料、覚書など



ビジネス・経済

▶ビジネス・経済分野の翻訳者を目指す方
▶ビジネス・経済分野の新しい用語や知識を学びたい方
▶金融、会計、マーケティングといったビジネス全般の翻訳力アップを目指す方

リーマン・ショックに端を発した世界金融危機、ヨーロッパにおける政府債務危機、新興国の台頭など、いまやビジネスを行う上で、世界経済の動向を無視することはできません。状況が日々移り変わるビジネス・経済分野の翻訳は、専門用語やトレンドをふまえて品質のよい翻訳を行うだけでなく、速報性が求められるため、翻訳スピードも重要となります。本コースでは、新しい単語や知識とともに、慣用的な用語や表現も取り上げ、実務に即した翻訳技術を身につけていきます。

テーマA　金融、証券
ニュース記事、論文、アナリストレポート、報告書、保険・証券資料など
テーマB　財務、会計、品質管理、リスクマネジメント
監査報告書、決算短信、財務書類など
テーマC　マーケティング、プレスリリース
プレスリリース、販促資料、マーケティング資料など

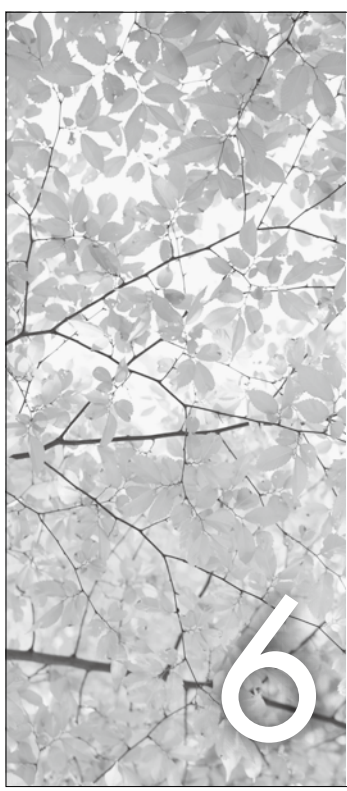
Step 1（実践）・Step 2（プロ）共通コース

社会・文化

▶社会文化の全般的な翻訳にご興味をお持ちの方
▶専門分野にとらわれず、学際的な翻訳技術を磨きたい方
▶専門分野を絞る前に、さまざまな文書の翻訳を学びたい方

実務翻訳を行う上で､専門分野を持つことは非常に強みとなります。しかし、最近では、従来のように単一分野の専門知識で処理できる翻訳だけでなく、文系・理系両方の広い知識が必要になる学際的内容の翻訳依頼が非常に増えてきています。今、翻訳の仕事をこなすためには、分野の垣根を越えた、さまざまな文章に柔軟に対応できる翻訳力が不可欠となっています。本コースでは、国際協力や行政情報に関する資料、ニュースや文化に関する情報や研究レポートなど、社会一般向けに書かれた多様な文書を題材に、守備範囲の広い翻訳力を身につけていきます。現在、専門分野を持っていない方にも最適な講座です。

テーマ A　国際協力、行政
論文、議事録、条約、調査資料、報告書、スピーチ原稿など
テーマ B　社会福祉、保健医療、教育など
ウェブサイト、案内資料、論文、推薦状、社内報など
テーマ C　ニュース、スポーツ、PR 資料など
ニュース記事、パンフレット、報告書、広告、書籍、論文など



環境・自然科学

▶環境・自然科学分野の翻訳者を目指す方
▶環境・自然科学における問題や取り組みにご興味のある方
▶正確かつ読みやすい柔軟な翻訳力を身につけたい方

PM2.5 や環境ホルモンなど人体に被害をもたらす問題、確実に進行するごみ処理問題、原子力利用をはじめとするエネルギー問題など、世界全体が抱えている課題は跡を断ちません。それを踏まえて企業は、ISO などの国際規格の取得に努め、ゼロエミッションを目指すなど、環境への配慮をアピールするようになりました。もはやこうした問題は、国境を超え、官民一体となって取り組むべき最重要課題となりました。本コースでは、環境・自然科学分野で頻出する報告書、論文、ニュース記事、プレゼン資料などの文書を題材に、正確かつ読みやすさを重視した翻訳力を養います。

テーマ A　環境科学、環境保全
報告書、論文、報道資料、技術マニュアルなど
テーマ B　エネルギー
プレゼン資料、報告書、テキスト、研究資料など
テーマ C　廃棄物処理、都市計画、土木
報告書、論文、ニュース記事、プレゼン資料など

7

工業技術

▶工業技術分野の翻訳者を目指す方
▶マニュアルや仕様書など論理的展開をベースにした翻訳にご興味のある方
▶工業技術分野における専門用語の扱いや表現方法を身につけたい方

この分野の翻訳は、機械、電気、IT、建築、土木、エネルギー、物理、化学、環境など、非常に多岐にわたります。また、きわめて専門的な用語を用いた文書をはじめ、専門外の人への指示、解説、報告等を必要とすることの多い分野です。そのため、専門語の扱いや言い回し、使用や規格の表現、一般の人への説明等、文書の種類によって多様な表現が要求されます。本コースでは、こうした工業技術分野での実務に必要な翻訳技術を、取扱説明書、作業指導書、仕様書、カタログ、報道資料、記事や論文などの題材を通して習得していきます。

テーマA　電気、電子
製品カタログ、取扱説明書、販促資料、プレスリリースなど
テーマB　機械、計測機器
仕様書、プレスリリース、製品カタログ、解説書など
テーマC　設備、ISO、その他技術
マニュアル、報告書、プレスリリース、解説書、取扱説明書など

8

医学・薬学

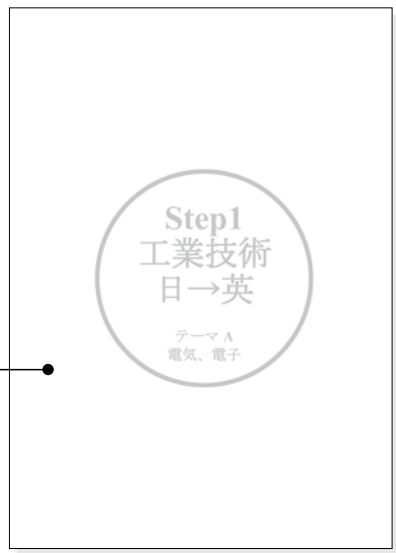
▶医学・薬学分野の翻訳者を目指す方
▶医薬分野特有の専門用語や略語、治験関連文書の内容などを体系的に学びたい方
▶医薬分野で扱われる文書や内容にご興味のある方

新薬の開発には、基礎研究（探索）→非臨床試験→臨床試験（治験）→申請・承認審査→製造販売後調査といった工程で、10～20年の開発期間と、数百から数千億円にものぼる莫大な研究開発費が必要になります。海外で先に承認された新薬の認可や、世界各国の医療機関が参加する国際共同治験の増加に従い、医薬分野の翻訳需要は、年々多様化しています。また、翻訳需要が景気に左右されにくく、安定しているという特徴もあります。本コースでは、医薬分野の翻訳に必要なテクニカル・タームや特有の略語を学ぶとともに、報告書、論文、申請資料などを題材に翻訳技術を身につけていきます。

テーマA　治験（1）、臨床・非臨床
治験実施計画書（Protocol）、治験総括報告書（CSR）、毒性試験結果、論文
テーマB　治験（2）、薬事行政
添付文書、治験薬概要書（IB）、コモン・テクニカル・ドキュメント（CTD）、照会事項、GMP、GCP、報告書
テーマC　医療機器
要求事項、論文、品質管理手順書、販売承認申請書、添付文書、解説文

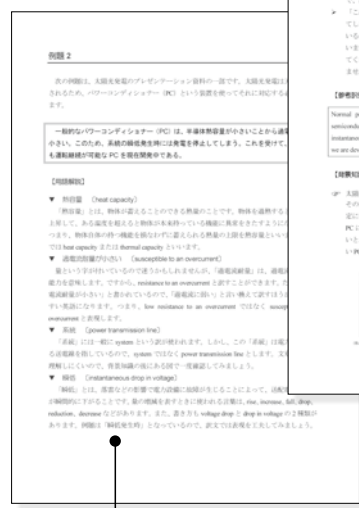
10 Step1（実践）の教材

p1



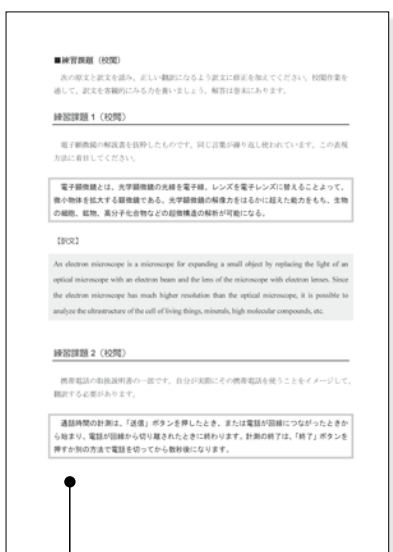
Step1 は、テーマ A、B、C の 3 つのテーマのテキストで構成されています。テーマごとに課題を通して専門用語・背景知識を学ぶと同時に、分野特有の表現･思考法を養います。各テーマのテキストの構成は同じです。

p2 例題



まず 4 題の例題に挑戦します。【用語解説】と【翻訳のポイント】を参照して訳文を推敲し、翻訳が完成したら【参考訳例】と【背景知識】を参照して、翻訳や専門知識の研究を行ってください。

p3 練習課題（校閲）



■練習課題（校閲）

次の原文と訳文を読み、正しい・翻訳になるよう訳文に修正を加えてください。校閲作業を通して、訳文を客観的にみる力を養いましょう。解答は巻末にあります。

練習課題 1（校閲）

電子顕微鏡の解説書を抜粋したものです。同じ言葉が繰り返し使われています。この表現方法に着目してください。

電子顕微鏡とは、光学顕微鏡の光線を電子線、レンズを電子レンズに替えることによって、微小物体を拡大する顕微鏡である。光学顕微鏡の解像力をはるかに超えた能力をもち、生物の細胞、鉱物、高分子化合物などの超微構造の解析が可能になる。

【訳文】

An electron microscope is a microscope for expanding a small object by replacing the light of an optical microscope with an electron beam and the lens of the microscope with electron lenses. Since the electron microscope has much higher resolution than the optical microscope, it is possible to analyze the ultrastructure of the cell of living things, minerals, high molecular compounds, etc.

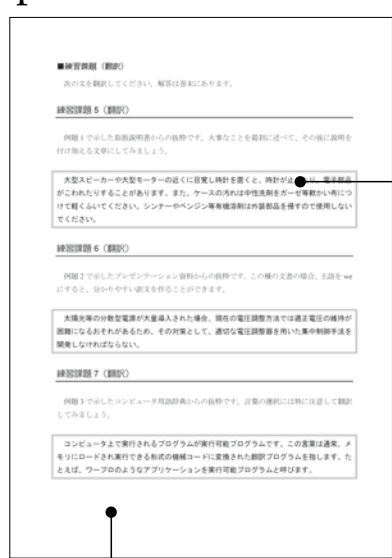
練習課題 2（校閲）

携帯電話の取扱説明書の一部です。自分が実際にその携帯電話を使うことをイメージして、翻訳する必要があります。

通話時間の計測は、「送信」ボタンを押したとき、または電話が回線につながったときから始まり、電話が回線から切り離されたときに終わります。計測の終了は、「終了」ボタンを押すか別の方法で電話を切ってから数秒後になります。

原文と訳文を比較し、訳文の誤りを直す校閲課題に挑戦します。校閲作業を通して、訳文を客観的に見る力を養います。

p4 練習課題（翻訳）



■練習課題（翻訳）

次の文を翻訳してください。解答は巻末にあります。

練習課題 5（翻訳）

例題 1 で示した取扱説明書からの抜粋です。大事なことを最初に述べて、その後に説明を付け加える文章にしてみましょう。

大型スピーカーや大型モーターの近くに音叉し時計を置くと、時計が止まったり、電子部品がこわれたりすることがあります。また、ケースの汚れは中性洗剤をガーゼや軟かい布につけて軽くふいてください。シンナーやベンジン等有機溶剤は外装部品を侵すので使用しないでください。

練習課題 6（翻訳）

例題 2 で示したプレゼンテーション資料からの抜粋です。この種の文書の場合、主語を we にすると、分かりやすい訳文を作ることができます。

太陽光等の分散型電源が大量導入された場合、現在の電圧調整方法では適正電圧の維持が困難になるおそれがあるため、その対策として、適切な電圧調整器を用いた集中制御手法を開発しなければならない。

練習課題 7（翻訳）

例題 3 で示したコンピュータ用語辞典からの抜粋です。言葉の選択には特に注意して翻訳してみましょう。

コンピュータ上で実行されるプログラムが実行可能プログラムです。この言葉は通常、メモリにロードされ実行できる形式の機械コードに変換された翻訳プログラムを指します。たとえば、ワープロのようなアプリケーションを実行可能プログラムと呼びます。

例題と校閲課題の勉強をもとに、翻訳の練習課題に取り組みます。長文の練習課題では、翻訳スピードも意識しながら正確な翻訳力を養います。翻訳が終わったら巻末の解答例を参照して復習を行ってください。

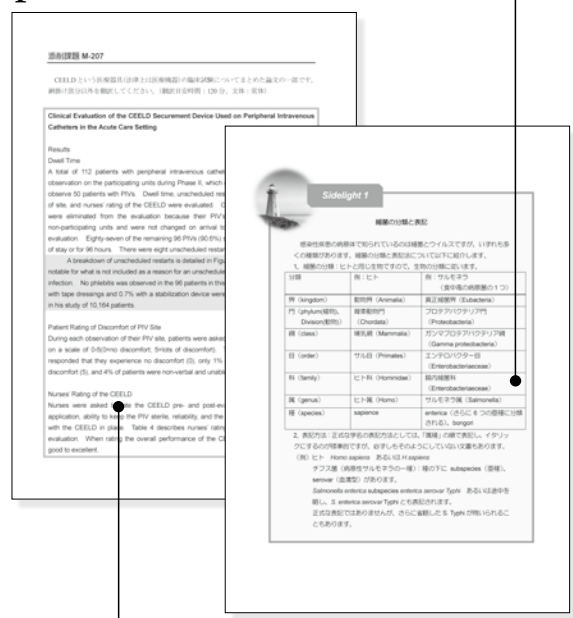
練習課題が終了したら、いよいよ添削課題の翻訳にチャレンジ。これまでの勉強を最大限に活かし、実際に翻訳を「納品」する意識で訳文を作成してください。最終チェックが終了したら課題を提出。返却された添削と参考訳例をもとに復習を行ってください。

p 1 練習課題

練習課題の翻訳に取り組みます。【解説】には、専門用語や翻訳のポイントが記されていますので、それらを参照しながら訳文を推敲します。最終チェックが終了したら、【参考訳例】をもとに訳文の比較研究を行ってください。練習課題は 4 題あります。

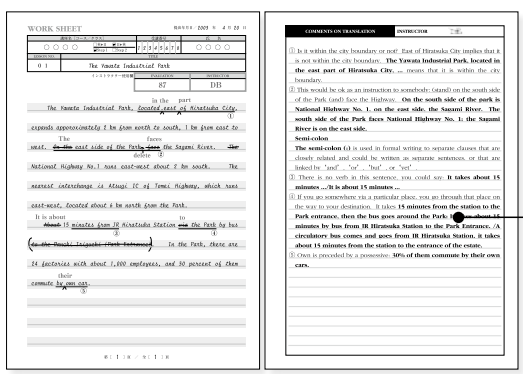
Sidelight のコーナーでは、専門知識や用語、翻訳テクニック、翻訳者自身の実体験エピソードなど、翻訳にまつわるさまざまな話題を取り上げて解説しています。課題とあわせて活用し、翻訳力アップに役立ててください。Sidelight は Step1 のテキストにも入っています。

p 2 添削課題



練習課題が終了したら、添削課題の翻訳に入ります。Step1 同様、「納品」する意識で翻訳に取り組んでください。最終チェックが終了したら、課題を提出します。

添削答案



添削には個別に詳細なコメントと点数を付してお返しします。英訳はネイティブのインストラクターが添削を担当します。コメントを参考にして、参考訳例と合わせて復習することが上達への近道です。点数の目標は 90 点です。

疲れたときは、コラムで一息。

2003 年から連載され大反響を呼んだメールマガジン「英語通⁉翻訳コーディネーターのぼやき日記」が、Step1、Step2 のテキスト内のコラムとして復活。翻訳コーディネーター Jun さん（♂）の日々のぼやきと、ダレン先生のくだけたワンポイントレッスンを「ボケとツッコミ」の形式でお届けいたします。激務に耐える Jun さんに共感して疲れた心を癒すもよし、ダレン先生のブラックジョークで笑うもよし、学習の合間の息抜きにご利用ください。

12 英文 e-mail 速効ゼミ

英文 e-mail 速効ゼミについて

今、仕事で海外と通信を行う手段はほとんど電話、FAX、そして e-mail になっています。便利さが増すにつれ、海外企業との交流は拡大の一途をたどっています。今の社会では、英語による e-mail 作成技術はビジネスマンに欠かせないスキルとなりました。英語を使って、簡潔かつ正確に自分の意図を伝える表現力を身につければ、e-mail で簡単に世界中の人々とコミュニケーションができます。国際的な仕事や交流に携わっている方、これから関わろうとしている方に最適なコースです。

日→英

受講時期	随時
受講期間	3ヵ月　※受講延長制度あり
添削課題	3題
質問	3回
受講料	29,160円（税込）
教材	テキスト（バインダー形式）1冊 英語表現辞典　1冊

ユニークな補助教材で表現力アップ!!

MRI 語学教育センターの通信教育講座を初めて受講される方には、補助教材として、『ネイティブが教える　英語表現辞典』をプレゼントします。永年、日本人の英語指導に携わってきた英米人スタッフが日本人英語学習者のために開発しました。

この辞典は、英語の表現方法の A to Z に加え、単語や熟語の選択の仕方や、目的に沿った文章の作り方など、用例・文例活用辞典としても使えるすぐれものです。イラスト・図形・グラフもふんだんに取り入れて分かりやすく解説してあります。

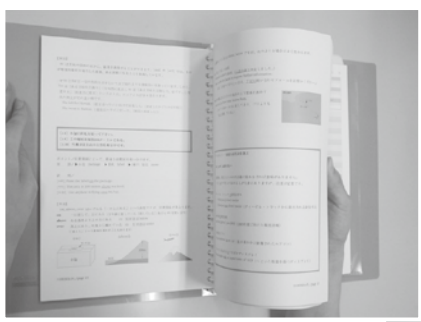
どんどん活用して、英語的発想法を身につけてください。

特　徴

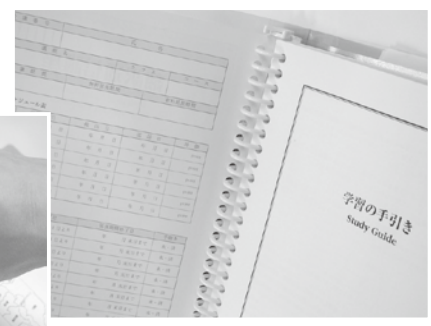
① 第一線で活躍しているプロ翻訳者が執筆したテキスト
②「翻訳会社が運営する翻訳学校」ならではの実務に直結した指導法
③ 添削者は現役の翻訳者・校閲者。日▶英はネイティブのインストラクターが担当
④ 学習中の疑問点は、講師に直接質問できるので安心
⑤ レポートの添削指導の速さが力に！

課題の提出から返却まで……e-mail 受講　**5日**（土日祝日含まず）
……郵便受講　**2週間**
充実した指導態勢と迅速な処理システムが受講生の力になります。

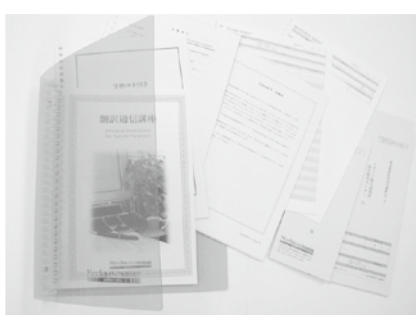
受講する皆さまの立場に立って、工夫をこらしたテキスト作りをしています。

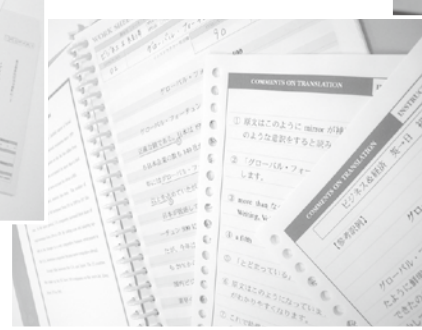

▲テキストはバインダー形式

▲予習・復習に合わせて、自由に入れ替えられます



▲巻頭には受講スケジュールと学習の手引き


▲学習の手引き、テキスト、解答＆質問シートが一冊に



▲添削には、詳しいコメントと参考訳例をつけてお返しします

▲持ち運びに便利なB5サイズ

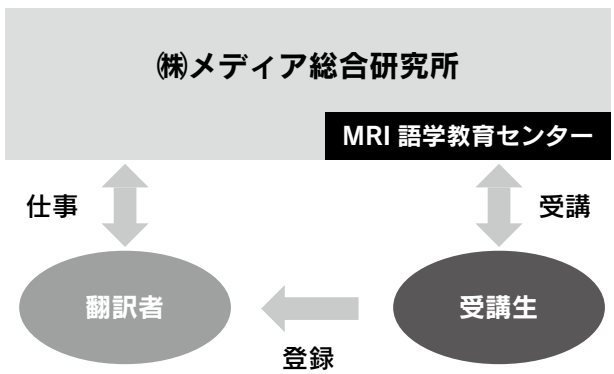
14 MRI 語学教育センターの『自社育成システム』

翻訳を学んでも、本当に仕事を得られるの？
そんな不安が、MRI なら解消されます。

MRI 語学教育センターは、大手翻訳会社の㈱メディア総合研究所が運営する実務翻訳の専門校です。メディア総合研究所では、優秀な実務翻訳者を育成すると同時に、官公庁や企業から翻訳を受注、納品する「翻訳サービス」を展開しています。その頭脳ともいえるのが 1,000 名におよぶ登録翻訳者。メディア総合研究所では、翻訳者の専門分野や実績などがデータ化されており、受注案件に応じてただちに最適な翻訳者をリストアップ。どこよりも迅速な対応を可能にしています。登録翻訳者の多くは、当センターの翻訳講座の修了生。Step2（プロ）講座を平均 90 点以上の成績で修了し、翻訳事業部の翻訳者として登録した方たちです。

これが「翻訳者の育成」と「翻訳サービス」が一体となった『自社育成システム』なのです。

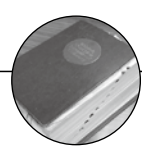
■ MRI 語学教育センター自社育成システム



受講～登録～仕事まで、MRI で完結します。

◎翻訳会社が運営する学校だから、仕事に近いんです

登録対象講座を優秀な成績で修了した方は、ダイレクトで㈱メディア総合研究所の翻訳者として契約することができます。翻訳者デビューまで、当センターの講師・スタッフが丁寧にサポートいたします。



お申込み

お電話、またはホームページで
資料を請求してください
▼
パンフレット、受講申込書を
お届けします
▼
受講申込書またはホームページにて
お申込みください
▼
受講料をお振込みください
▼
教材を発送いたします
（受講手続き完了）

受　講

受講生のレベルに
応じて丁寧に指導

練習課題を自習
▼
添削課題にトライ
（e-mail または郵便）
▲
▼
MRI 語学教育センター
第一線で活躍中の実務翻訳者による、添削評価・コメントを付して返送します

修了後

プロ翻訳者として
活躍してください

修了
▼
その後の学習計画の相談に応じます
▼
Step2講座を修了
▼
翻訳者として登録
▼
メディア総合研究所翻訳事業部より
翻訳業務を依頼します。
プロの翻訳者として活躍してください

メディア総合研究所 翻訳事業部

メディア総合研究所、翻訳事業部では、こうした翻訳を実際に取り扱っています。

コース ＼ 内容	申　請	交　渉	報　告	通　信	案　内
1 IT・コンピュータ		利用規約 ライセンス契約	調査レポート 報告書 新聞 雑誌		取扱説明書 仕様書 手順書 リリース カタログ・パンフレット Web サイト ヘルプ ユーザインタフェース マニュアル
2 先端テクノロジー			論文 研究レポート 報告書 スピーチ原稿		製品紹介 販促資料 取扱説明書 SOP カタログ・パンフレット
3 契約・法務	法律文書 条例 規則 定款 申請書	技術提携契約書 合弁事業契約書 テクニカルプロポーザル 賃貸借契約書 協約書 覚書 確認書 売買契約書 代理店契約書 サービス契約書 請負契約書 委託契約書 機密保持契約	社内規定 各種規則 事業契約書	各種通信文	
4 ビジネス・経済		入札書類 コマーシャルプロポーザル	議事録 営業報告書 財務会計報告書 調査報告書 アニュアルレポート 論文 レジュメ マーケットリサーチレポート	商業通信文 輸出入書類	講演原稿 目論見書 リリース 各種広告 Web サイト 新聞 PR 資料
5 社会・文化	条例	コマーシャルプロポーザル	新聞 雑誌 事業報告書 規則 論文	案内状 通知書 紹介状 依頼状 挨拶状 礼状 推薦状 詫び状	会社案内 PR 資料 プレゼン資料 Web サイト カタログ・パンフレット 各種広告 リリース
6 環境・自然科学	申請書		論文 新聞 雑誌 研究レポート 報告書 レジュメ スピーチ原稿	各種通信文	テキスト マニュアル リリース パンフレット プレゼン資料
7 工業技術	申請書		報告書 解説書 論文		マニュアル カタログ 取扱説明書 リリース 仕様書
8 医学・薬学	申請書		副作用レポート 論文 レジュメ 研究レポート 実験レポート プロトコール 報告書	各種通信文	効能書 リリース 取扱説明書 添付文書

※最先端の IT（Information Technology）やバイオテクノロジー、遺伝子工学、ナノテクノロジーなどから、ファッションや食品・日用品まで、あらゆる分野の翻訳を取り扱っています。

■ 主な取引先

環境省／国土交通省／厚生労働省／国際通貨基金／(独)国際協力機構／日経連／中央労働災害防止協会／国連機関／経済産業省／(財)日本国際協力センター／中外製薬／国際通貨基金／ウエストドイッチェ・ランデスバンク／ワイス／富士写真フィルム／ボストン・サイエンティフィック／出光興産／エーザイ／日本曹達／ NTT ファシリティーズ／ソニーグループ／ SAP ／ GE グループ／東京海上日動リスク／日本製薬工業協会／旭硝子／(独)農業生物資源研究所／(独)農薬検査所

（敬称略、順不同）

翻訳会社が運営する学校だから、仕事に近いんです。

MRI語学教育センター

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-14-4 SKビル千駄ヶ谷 4F

0120-441-172（平日 9：30～18：00）

E-mail mri-center@mediasoken.jp

U R L http://www.mri-trans.com/

※ご質問・ご相談などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。